

新刊!

4月9日～搬入開始予定!

受注配本が原則となります。必要な書店様に確実にお届けするため、ぜひご注文をお願いします!!(注文扱返条付/満数出荷)

「恐怖の美学」「真夜中の博物館」

# 樋口ヒロユキ

Hiroyuki Higuchi

アート初心者から、ファン、作家なども、目からウロコのスリリングなアート論!

アートとは信号機なのか。メッセージを素早く読み取った方が勝ちの早押しクイズなのか。アートはむしろ、不透明さがあり、謎を含み持つからこそ成り立つのだ。スフィックスのように、永遠に謎を投げかけてくるものなのである。

現代美術はスフィックスをめざす

# アートはわかってくれない

アートがもっと身近になる! 接し方が変わる! サブカルなどにも立ち寄りつつ、樋口ヒロユキがいざなうアートの面白さと、その正体!

アートは信号機じゃない。「謎」だ! いざ、美術的大冒険へ!

怪獣、関西ニューウェーブ、鬼畜、KAWAII、アール・ブリュット、もの派、森村泰昌、ヤノベケンジ、デヴィッド・リンチ、Chim↑Pom、草間彌生、李禹煥、デュシャン、中原浩大、ウィリアム・ケンブリッジ……

縦横無尽な冒険によって辿り着いた

「作品」の「正体」とは……?

美術作家の島袋道浩は、阪神・淡路大震災のとき、半壊した家の屋根に「人間性回復のチャンス」と大書した看板を掲げた。そして、東日本大震災の発災から数日後、そのときまた島袋が出品していた国立国際美術館でのグループ展に、その看板を当時撮影した、写真作品が展示されることになった。

使い捨てカメラで撮られたのだろう、写真の隅にはデジタルの日付表示が刻印されている。だがその日付はなんと、1995年の、まさに「3月11日」だった。何の特別な日でもなかったはずの、3月11日という日付。だが、それが大きな意味を持つてしまったのだ。私がそこで見たのは、芸術そのものの本質に迫る展示行だった。



内容詳細・目次 (アトリエサードで検索) ★注文ページにも飛べます



注文カード	貴店名	初回搬入分・注文締切 4/7 (月) 午前	注文扱・返条付
	ご担当者名	樋口ヒロユキ	<input type="checkbox"/> POPを希望
	ご注文日	<b>アートはわかってくれない</b>	
	FAX番号	～現代美術はスフィックスをめざす	
取次は、日販・トーハン・楽天・中央にて承ります	四六判・カバー装・320頁 978-4-88375-550-9	定価税別	2500円

●評論・エッセイ 好評発売中!●

	本体	ISBN	冊数
井村君江「妖精世界へのとびら～新版・妖精学入門」	2000	511-0	
井村君江「Fairy handbook～妖精ヴィジュアル小辞典」	1800	484-7	
フロリス・ドラットル「フェアリーたちはいかに生まれ愛されたか～イギリス妖精信仰」	2500	474-8	
岡和田晃「世界にあげられた弾痕と、黄昏の原郷～SF・幻想文学・ゲーム論集」	2750	263-8	
高原英理「アルケミックな記憶」	2200	214-0	

●樋口ヒロユキの本●

	本体	ISBN	冊数
樋口ヒロユキ「真夜中の博物館～美と幻想のヴァンダー・カンマー」	2500	170-9	
★現代美術から文学、サブカルまで、めくるめく評論集! ぜひ併売を!			
樋口ヒロユキ「恐怖の美学～なぜ人はゾクゾクしたいのか」	2500	482-3	

ご注文は……アトリエサード tel.03-6304-1638 fax.03-3946-3778 www.a-third.com ←ネットから注文OK!